

学校だより

緑の里

令和3年 7月 21日(第4号)
三条市立保内小学校(児童108名)
〒955-0022 三条市上保内乙 500
TEL.0256(38)8313 FAX. (38)1471



3年 ひまわりの観察



6年 フリッジスクール

お手伝い効果

校長 白井 敦

長かった梅雨も明け、眩しい夏の太陽と透き通るような青空の季節がやってくると、学校は夏休みを迎えます。今年の1学期は73日間。108人の子どもたちがみんな揃って今日の終業式を迎えることができました。本当にありがたく、尊いことだと実感しています。地域、保護者の皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、子どもたちは明日から待ちに待った夏休みです。1年生から6年生まで、それぞれ夏休みのめあてや計画を立て、規則正しい休みになるよう指導したところです。

その中で、「お手伝い」をめあての一つに選んだ子どももいると思います。今日は、お手伝いの教育効果について考えてみました。

国立青少年教育振興機構の説明によると、大きな効果は3つ。1つ目は「子どもの自己肯定感が高まること」2つ目は「マナーを学ぶことにつながること」3つ目は「時間の感覚を身に付けられること」だそうです。どれもよりよく生きるためには大切なスキルです。加えて、「生活習慣が身に付いている子どもほど学力が高い」というデータがあることから、お手伝いによって磨かれた「時間の感覚」が規則正しい「生活習慣」を作り上げ、その「生活習慣」が「高い学力」をもたらす事になるようです。

さらに、金沢工業大学虎ノ門キャンパス教授の三谷宏治さんによると、子どもの頃からお手伝いをしてきた人には以下のような共通点が見られるそうです。

- ①段取りがいい
- ②指示されなくても自分で仕事を見つけられる
- ③自分で考えてトラブルに対応しようとする
- ④自分の意志で決定できる
- ⑤思いやりの気持ちがあり気が利く
- ⑥感謝を忘れない

つまり、「コミュニケーションスキル」や「問題解決スキル」といった生きる力が身に付くのだそうです。

「たかが手伝い、されど手伝い」です。最初は手間が掛かり、やり直しをすることもあるかもしれませんが、でも、子どもたちのよりよい成長を信じて、チャレンジさせてみませんか。



保内小HPへ